博物館のひろば

つぎの方は、年間を通じて博物館の観覧料が無料です。
・大町市内在住の 65 歳以上の方
・大町市内の小学校・中学校に通う児童・生徒の方
（入場の際、受付にてお名前等をご記入ください）

理科野外学習「八坂中学校による八坂地区の地層観察」

平成29年４月10日（月）

山岳博物館では学校へ講師を派遣して連携授業を実施しています。新年度の最初に、八坂中学校では２年生の理科授業として、八坂の地層観察が行われました。

1,000万年ほど前に八坂が海だったころに堆積した地層を調べて、青木層（砂岩と泥岩が交互に重なる）と小川層（ほとんどが砂岩できている）の分布図をつくりました。上篭ではみごとな葉の化石が見つかり、歓声があがりました。

翌日の理科授業で、大塩から犀川までの地下断面図をつくったところ、青木層だけで厚さが1,000mもあることがわかって、みんなびっくりしたそうです。

リュウキンカの訪花昆虫調査

平成29年４月17日（月）・18日（火）

リュウキンカはミズバショウとともに春の訪れを告げる植物として、人気の高い植物ではありますが、どのような生活をしているのかは意外と知られていません。

山岳博物館では、リュウキンカの生活史（種子が発芽して開花するまで）の観察とあわせて生物間関係についても観察をして明らかにしようと研究を進めています。

成果については、博物館２階「さんぱく研究最前線－北アルプス自然と人 トピックス」で展示するほか、広報誌「山と博物館」や研究紀要で発表する予定です。

「北アルプス雪形まつり」の展示始まる

平成29年５月８日（月）～31日（水）

今年の第16回北アルプス雪形まつりは、５月８日から開催され、６月10日の雪形ステージで締めくくりとなります。この間５月８日から31日までの24日間、山岳博物館は北アルプス雪形まつり実行委員の一員として、ギャリ―い～ずらを会場に「雪形写真展」を開催し、５月14日と28日には雪形ウォッチングを実施しました。

写真展会場では、安曇野で見られる雪形を写真とビデオで上映し、見学者は「北アルプスを眺めても雪形を見つけるのは難しかったが、写真やビデオの説明でよくわかった」との感想も聞かれました。

平成29年度　ライチョウ舎増設の準備をしています。

山岳博物館では平成28年度から12年ぶりにライチョウ飼育を再開いたしましたが、本年度は再開後の飼育ライチョウによる第２世代の誕生のため、ペアリングや産卵、ふ化等の繁殖事業に鋭意取り組んでおります。

また、今後のライチョウの個体数増加を見越して、本年度は９月頃から新たにライチョウ舎を建設するため、現在、施設の設計業務を進める等の準備をしております。

昨年度からは、それに先立って、付属園にライチョウ舎を増設するため、老朽化した旧倉庫群を解体し、ライチョウ舎建設のための用地を確保しております。

編集・発行 市立大町山岳博物館 OMACHI ALPINE MUSEUM —創立 1951 年—
〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
市立大町山岳博物館　編集責任者　鳥羽章人
TEL. 0261-22-0211 FAX. 0261-21-2133
E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL:http://www.omachi-sanpaku.com

6月号
第 62 巻　第 5 号
2017 年

発行日　2017（平成 29）年 5 月 25 日
印　刷　有限会社北辰印刷
〒398-0002 長野県大町市大町 3871-1
TEL.0261-22-3030　FAX.0261-23-2010

〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
TEL. 0261-22-0211 FAX. 0261-21-2133
E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL:http://www.omachi-sanpaku.com
市立大町山岳博物館公式 Web サイトは、
大町山岳博物館友の会の支援により博物館が運用しています。

OMACHI ALPINE MUSEUM 市立 大町山岳博物館

山と博物館

「山と博物館」は、大町市役所および市内社会教育施設で、設置・配布しているほか、博物館公式 Web サイトからもご覧いただけます。

6月号
第 62 巻　第 5 号
2017 年

無料 Free

もくじ

今月の１枚 …… １ページ
・セブンサミッター・山田淳氏講演
新着資料紹介 …… ２ページ
・「ルビーをつくる“さじ加減”」
イベントのご案内 …… ２ページ
・特別展「山と美術 ― 山岳風景画とウッドシャフトピッケル ―」
博物館のひろば …… ３ページ
・付属園まつり開催！
博物館のひろば …… ４ページ
・理科野外学習「八坂中学校による八坂地区の地層観察」
・リュウキンカの訪花昆虫調査など
・「北アルプス雪形まつり」の展示始まる
・平成29年度　ライチョウ舎増設の準備をしています

博物館施設案内はこちら

友の会総会記念講演会

セブンサミッター・山田淳氏講演

関　悟志

当館では、友の会共催事業として、去る４月16日に、国内の登山界で先駆的な取り組みを実践しているセブンサミッター（七大陸最高峰登頂者）の山田淳氏を講師にお招きして講演会を開催しました。当日は市内外から定員を超える約70名の参加者がありました。

当時の世界最年少記録を更新した七大陸最高峰への登頂のようすを中心に、北アルプスを含めた日本の山の魅力や、信州で盛んな学校登山などの活動が持つ可能性、登山人口増と安全登山推進への取り組みなど、国内の山岳文化・登山文化の将来へ向けたあり方についてもふれていただき、内容の濃い講演会でした。いずれも、ご自身の体験にもとづく説得力のある内容で、ユーモアを交えながらの軽妙なお話に引き込まれ、約２時間の講演会があっと言う間に感じられました。

参加者へのアンケートからは、「『下山途中に次の登山を思う』『よく準備すればOK。山を甘く見ない』etc. とても印象的な言葉満載で知性的講演でした」「学校登山のこと、とても印象に残りました。日本の登山文化から日本文化・歴史の学びを重ねていくことが自然保護にもつながると思いました」「理科・社会科の延長で学校登山があればよいと言われて、なるほどと思いました。視点が変わりました」などの感想が寄せられ、好評をいただくとともに、参加者自身がこれからの山と人とのかかわりを考える機会となりました。

当館では、今後も市民をはじめ地域の方々向けに、山のまち「大町」ならではの企画による催しを積極的に展開していきたいと思います。

（市立大町山岳博物館 学芸員）

新着資料紹介　ルビーをつくる“さじ加減”

矢野　孝雄

【ルビー原石（アフリカ産）】

山岳博物館では、山々の岩石をつくっている鉱物の展示に向けて少しずつ準備をすすめています。今回は、新着標本のなかから、ルビーを紹介させていただきます。

ルビーは、赤い色の代名詞にもつかわれる美しい宝石です。７月の誕生石ですので、お持ちのかたもいらっしゃるかもしれません。宝飾品になるほど美しい天然ルビーが採れるところは世界でもきわめて少なく、とくに、大きな結晶はまれにしか見つかりません。

カット・研磨された宝石のもとになった原石をみるチャンスはほとんどありません。山岳博物館に新しく所蔵されたルビー原石は、直径が５cmもあります。結晶のなかに細かな割れ目がたくさんあるため、残念ながら宝石にはなりませんが、色合いはとても美しいものです。ルビーを含む岩石は片麻岩とよばれ、高い温度と圧力をうけてできたもので、ルビーが地下深くでできたことがわかります。

ルビーはコランダム（Al_2O_3）という鉱物の一種で、どこにでもあるアルミニウムと酸素が化合したものです。コランダムは、鋼玉と呼ばれるように、ダイアモンドの次に硬い鉱物です。純粋な結晶は無色透明の美しい宝石になりますが、不純物がふくまれるとさまざまな色がつきます。

【複雑な色合いのコランダム結晶（中国雲南省産）】

無色透明のコランダムに鉄とチタンがわずかに混じると、青く透明なサファイアができ、９月の誕生石にされています。いっぽう、クロムが混じると色がまったくちがって、1%ほどのときにだけ透明な濃赤色のルビーができるのです。クロムがさらに増えると色が濃くなってしまい、５％を超えると灰色の工業用研磨剤にしかなりません。

こうしてみると、自然界でも、人の世でも、「帯に短し襷に長し」のことが多く、適切な“さじ加減”はむつかしいようです。北アルプスの岩石をつくっているさまざまな鉱物も、それぞれが微妙なバランスの上にできあがっているのです。

（市立大町山岳博物館専門員）

展示・イベントのご案内

《北アルプス国際芸術祭パートナーシップ事業》
特別展　― 北アルプス国際芸術祭 2017 ～信濃大町 食とアートの廻廊～ 開催期間 限定展示 ―

「山と美術 ― 山岳風景画とウッドシャフトピッケル ―」

～アートコレクションを通して親しむ山の世界～

今年６月・７月に大町市で初開催されるイベント「北アルプス国際芸術祭2017 ～信濃大町 食とアートの廻廊～」にあわせて、山にかかわる美術資料などを限定展示し、ご紹介する特別展を開催します。この機会に、北アルプス後立山連峰のふもと、“岳のまち” 大町市ならではの山岳文化を象徴するアートコレクションを通して山の世界に親しんでみてはいかがでしょうか。

特別展では、初公開あるいは本展に限り特別公開の資料を中心に、当館が所蔵する美術資料のうち、「好んで山を描く画家の集団」である日本山岳画協会（1936年創立）の初期会員など、明治期以降の山岳画家らが描いた山岳風景画の秀作を展示。また、機能美を追求して美術品の域まで高められたものとして登山の道具をとらえ、日本やスイスで作られた古典的なウッドシャフト（木製の柄）ピッケルの逸品を展示します。

山に対するそれぞれの思いを作品に込めて表現した山岳画の世界観や、ピッケルの持つ輝きをお楽しみください。

□会　期　６月４日（日）～７月30日（日）
　　※６月中の月曜日は休館
□時　間　午前９時～午後５時
　　（入場は午後４時30分まで）
□会　場　市立大町山岳博物館 特別展示室
□費　用　通常の入館料（常設展と共通）が必要
　　（大人400円、高校生300円、小中生200円）
※ただし、未就学児、市内小中学生、65歳以上の市民は入館無料。また、毎月第３日曜日の「家庭の日」とその前日の土曜日にかぎり、市民は入場無料

足立源一郎《日暈 西鎌尾根にて》
1947（昭和22）年 油彩・ｷｬﾝﾊﾞｽ
【当館蔵】

山内東一郎《ピッケル 山内 713 番》
1935（昭和 10）年 仙台
【平柳一郎氏旧蔵・個人蔵】

博物館のひろば

山岳博物館　市民「無料」開放デー

博物館では、毎月第３日曜日（家庭の日）とその前日の土曜日を「大町市民無料開放デー」としています（これらの日については、大町市民以外の長野県民は団体割引料金でご覧いただけます）。６月は17日（土）と18日（日）です。

付属園まつり開催！

今年の付属園まつりは、平成29年４月29日（土）から５月７日（日）の延べ９日間開催されました。

今年の新たな試みとして付属園の役割や飼育員の仕事を知っていただこうと「ふぞくえんで餌やり体験！」実施しました。

給餌体験には、予定を上まわる30人以上の子ども達が訪れ関心の高さがうかがえました。

動物観察ツアー

今年の付属園まつりは、お天気にも恵まれたこともあり、スタンプラリーやどうぶつ観察ツアーなど550人余りの方々がイベントに参加して頂きました。

餌やり体験

スタンプラリー

おおまぴょんとあそぼう